

2 級 中級の技能労働者が通常有すべき技能及び知識	1 級 上級の技能労働者が通常有すべき技能及び知識	特 級 管理者及び監督者が通常有すべき技能及び知識
<p>学科試験</p> <p>1 たて編ニット生地製品の理解 次に掲げるたて編ニット生地製品について一般的な知識を有すること 1.衣料資材(裏地、芯地等) 2.インテリア資材(カーシート、内装材等) 3.外衣 4.下着 5.産業資材(農業用ネット等) 6.水着</p> <p>2 素材の取扱い ①繊維の種類、性質及び用途 1)次に掲げる天然繊維の種類、性質及び用途について一般的な知識を有すること。 1.植物繊維 2.動物繊維 3.鉱物繊維 2)次に掲げる化学繊維の種類、性質及び用途について一般的な知識を有すること。 1.合成繊維 2.半合成繊維 3.再生繊維 ②たて編糸の種類、性質、用途、より方及び表示法 次に掲げるたて編糸の種類、性質、用途、より方及び表示法について一般的な知識を有すること。 1.フィラメント糸 2.紡績糸 3.加工糸 4.弾性糸 ③たて編ニット生地の種類、性質及び用途 次に掲げるたて編ニット生地の種類、性質及び用途について一般的な知識を有すること。 1.無地 2.メッシュ柄 3.起毛地 4.ハイル地 5.柄物 ④たて編の基本組織及びたて編ニット生地の組織の特徴 1)次に掲げるたて編の基本組織について一般的な知識を有すること。 1.編目 2.デンビ編 3.くさり編 4.コード編 5.アトラス編 2)次に掲げるたて編ニット生地の組織の特徴について一般的な知識を有すること。 1.ハーフ 2.チュール 3.逆ハーフ 4.サテン 5.ハイル 6.マーキーゼット 7.よこ糸挿入 8.ネット</p> <p>3 設備等の取扱い ①たて編ニット生地製造に使用する機械の種類、構造、用途及び使用方法 1)整経機の種類、構造、用途及び使用方法について一般的な知識を有すること。 2)次に掲げるたて編機の種類、構造、用途及び使用方法について一般的な知識を有すること。 1.トリコット機 2.ラッセル機 3.ミラニース機 4.クロチエット機 5.マリモ機 3)次に掲げる装置の種類、構造、用途及び使用方法について一般的な知識を有すること。 1.編成部装置(編成原理等) 2.巻取り装置 3.柄出し装置 4.糸切れ検知装置 5.たて糸送出し装置 6.テンション装置 7.駆動装置 8.クリールスタンド ②たて編機の調整に使用する器具及び計測器の種類、用途及び使用方法 次に掲げるたて編機の調整に使用する器具及び計測器の種類、用途及び使用方法について一般的な知識を有すること。 1.ハンマ 2.スパナ 3.六角レンチ 4.ニードルペンチ 5.ドライバ 6.はさみ 7.おさ通し用具 8.ブローリ抜き(ギャブーラ) 9.ルーペ 10.ルノメータ(編地密度測定器) 11.スケール 12.タコメータ(回転速度計) 13.すきまゲージ 14.ノギス 15.糸長計 16.ダイヤルゲージ 17.テンションメータ 18.硬度計</p>	<p>学科試験</p> <p>1 たて編ニット生地製品の理解 次に掲げるたて編ニット生地製品について専門的な知識を有すること 1.衣料資材(裏地、芯地等) 2.インテリア資材(カーシート、内装材等) 3.外衣 4.下着 5.産業資材(農業用ネット等) 6.水着 7.その他資材(医療、工業その他)</p> <p>2 素材の取扱い ①繊維の種類、性質及び用途 1)次に掲げる天然繊維の種類、性質及び用途について専門的な知識を有すること。 1.植物繊維 2.動物繊維 3.鉱物繊維 2)次に掲げる化学繊維の種類、性質及び用途について専門的な知識を有すること。 1.合成繊維 2.半合成繊維 3.再生繊維 4.無機繊維 ②たて編糸の種類、性質、用途、より方及び表示法 次に掲げるたて編糸の種類、性質、用途、より方及び表示法について専門的な知識を有すること。 1.フィラメント糸 2.紡績糸 3.加工糸 4.弾性糸 ③たて編ニット生地の種類、性質及び用途 次に掲げるたて編ニット生地の種類、性質及び用途について専門的な知識を有すること。 1.無地 2.メッシュ地 3.起毛地 4.ハイル地 5.柄物 ④たて編の基本組織及びたて編ニット生地の組織の特徴 1)次に掲げるたて編の基本組織について専門的な知識を有すること。 1.編目 2.デンビ編 3.くさり編 4.コード編 5.アトラス編 2)次に掲げるたて編ニット生地の組織の特徴について専門的な知識を有すること。 1.ハーフ 2.チュール 3.逆ハーフ 4.サテン 5.ハイル 6.マーキーゼット 7.よこ糸挿入 8.ネット 9.変化組織</p> <p>3 設備等の取扱い ①たて編ニット生地製造に使用する機械の種類、構造、用途及び使用方法 1)整経機の種類、構造、用途及び使用方法について専門的な知識を有すること。 2)次に掲げるたて編機の種類、構造、用途及び使用方法について専門的な知識を有すること。 1.トリコット機 2.ラッセル機 3.ミラニース機 4.クロチエット機 5.マリモ機 3)次に掲げる装置の種類、構造、用途及び使用方法について専門的な知識を有すること。 1.編成部装置(編成原理等) 2.巻取り装置 3.柄出し装置 4.糸切れ検知装置 5.たて糸送出し装置 6.テンション装置 7.駆動装置 8.クリールスタンド ②たて編機の調整に使用する器具及び計測器の種類、用途及び使用方法 次に掲げるたて編機の調整に使用する器具及び計測器の種類、用途及び使用方法について専門的な知識を有すること。 1.ハンマ 2.スパナ 3.六角レンチ 4.ニードルペンチ 5.ドライバ 6.はさみ 7.おさ通し用具 8.ブローリ抜き(ギャブーラ) 9.ルーペ 10.ルノメータ(編地密度測定器) 11.スケール 12.タコメータ(回転速度計) 13.すきまゲージ 14.ノギス 15.糸長計 16.ダイヤルゲージ 17.テンションメータ 18.硬度計 19.デンタル計</p>	<p>学科試験</p> <p>1 たて編ニット生地製品の理解 次に掲げるたて編ニット生地製品について専門的な知識を有すること 1.衣料資材(裏地、芯地等) 2.インテリア資材(カーシート、内装材等) 3.外衣 4.下着 5.産業資材(農業用ネット等) 6.水着 7.その他資材(医療、工業その他)</p> <p>2 素材の取扱い ①繊維の種類、性質及び用途 1)次に掲げる天然繊維の種類、性質及び用途について専門的な知識を有すること。 1.植物繊維 2.動物繊維 3.鉱物繊維 2)次に掲げる化学繊維の種類、性質及び用途について専門的な知識を有すること。 1.合成繊維 2.半合成繊維 3.再生繊維 4.無機繊維 ②たて編糸の種類、性質、用途、より方及び表示法 次に掲げるたて編糸の種類、性質、用途、より方及び表示法について専門的な知識を有すること。 1.フィラメント糸 2.紡績糸 3.加工糸 4.弾性糸 ③たて編ニット生地の種類、性質及び用途 次に掲げるたて編ニット生地の種類、性質及び用途について専門的な知識を有すること。 1.無地 2.メッシュ地 3.起毛地 4.ハイル地 5.柄物 ④たて編の基本組織及びたて編ニット生地の組織の特徴 1)次に掲げるたて編の基本組織について専門的な知識を有すること。 1.編目 2.デンビ編 3.くさり編 4.コード編 5.アトラス編 2)次に掲げるたて編ニット生地の組織の特徴について専門的な知識を有すること。 1.ハーフ 2.チュール 3.逆ハーフ 4.サテン 5.ハイル 6.マーキーゼット 7.よこ糸挿入 8.ネット 9.変化組織</p> <p>3 設備等の取扱い ①たて編ニット生地製造に使用する機械の種類、構造、用途及び使用方法 1)整経機の種類、構造、用途及び使用方法について専門的な知識を有すること。 2)次に掲げるたて編機の種類、構造、用途及び使用方法について専門的な知識を有すること。 1.トリコット機 2.ラッセル機 3.ミラニース機 4.クロチエット機 5.マリモ機 3)次に掲げる装置の種類、構造、用途及び使用方法について専門的な知識を有すること。 1.編成部装置(編成原理等) 2.巻取り装置 3.柄出し装置 4.糸切れ検知装置 5.たて糸送出し装置 6.テンション装置 7.駆動装置 8.クリールスタンド ②たて編機の調整に使用する器具及び計測器の種類、用途及び使用方法 次に掲げるたて編機の調整に使用する器具及び計測器の種類、用途及び使用方法について専門的な知識を有すること。 1.ハンマ 2.スパナ 3.六角レンチ 4.ニードルペンチ 5.ドライバ 6.はさみ 7.おさ通し用具 8.ブローリ抜き(ギャブーラ) 9.ルーペ 10.ルノメータ(編地密度測定器) 11.スケール 12.タコメータ(回転速度計) 13.すきまゲージ 14.ノギス 15.糸長計 16.ダイヤルゲージ 17.テンションメータ 18.硬度計 19.デンタル計</p>

たて編ニット生地製造技能試験基準（試験の科目及びその範囲並びにその細目）

日本経編協会

2 級 中級の技能労働者が通常有すべき技能及び知識	1 級 上級の技能労働者が通常有すべき技能及び知識	特 級 管理者及び監督者が通常有すべき技能及び知識
<p>4 設計書に関する理解 たて編ニット生地の設計書に関し、一般的な知識を有すること。</p> <p>5 たて編ニット生地の加工の方法 たて編ニット生地の加工の方法に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 1)次に掲げる加工の方法 1.バッジ組み 2.精練加工 3.染色加工 4.仕上げ加工 2)次に掲げる特殊加工の方法 1.起毛加工 2.プリント加工 3.減量加工</p> <p>6 たて編ニット生地製造に関する日本工業規格 たて編ニット生地製造に関する日本工業規格について一般的</p> <p>7 品質管理・検査 次に掲げるたて編ニット生地製造の品質管理・検査について 1.編み上がり製品の流し方 2.検査(見回り作業を含む) 3.数量管理及び品質管理</p> <p>8 生産管理 次に掲げるたて編ニット生地製造の生産管理に関し概略の知識を有すること 1.納期管理 2.工程管理 3.在庫管理</p> <p>9 安全衛生 たて編ニット生地製造作業に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。 1.機械、工具、原材料等の危険性及びこれらの取扱い方法 2.安全装置又は保護具の性能及び取扱い方法 3.整理・整頓及び清潔の保持 4.電気設備、ガス設備及び蒸気設備の取扱い上の安全 5.室内の照明及び換気並びに温度及び湿度の保全 6.事故発生時における応急措置及び退避 7.その他たて編ニット生地製造作業に関する災害の原因と予防及び安全衛生のための必要な事項</p>	<p>4 設計書に関する理解 たて編ニット生地の設計書に関し、専門的な知識を有すること。</p> <p>5 たて編ニット生地の加工の方法 たて編ニット生地の加工の方法に関し、次に掲げる事項について専門的な知識を有すること。 1)次に掲げる加工の方法 1.バッジ組み 2.精練加工 3.染色加工 4.仕上げ加工 2)次に掲げる特殊加工の方法 1.起毛加工 2.プリント加工 3.減量加工 4.その他の加工</p> <p>6 たて編ニット生地製造に関する日本工業規格 たて編ニット生地製造に関する日本工業規格について専門的な知識を有すること。</p> <p>7 品質管理・検査 次に掲げるたて編ニット生地製造の品質管理・検査について 1.編み上がり製品の流し方 2.検査(見回り作業を含む) 3.数量管理及び品質管理</p> <p>8 生産管理 次に掲げるたて編ニット生地製造の生産管理に関し一般的な</p> <p>9 安全衛生 たて編ニット生地製造作業に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。 1.機械、工具、原材料等の危険性及びこれらの取扱い方法 2.安全装置又は保護具の性能及び取扱い方法 3.整理・整頓及び清潔の保持 4.電気設備、ガス設備及び蒸気設備の取扱い上の安全 5.室内の照明及び換気並びに温度及び湿度の保全 6.事故発生時における応急措置及び退避 7.その他たて編ニット生地製造作業に関する災害の原因と予防及び安全衛生のための必要な事項</p>	<p>4 設計書に関する理解 たて編ニット生地の設計書に関し、専門的な知識を有すること。</p> <p>5 たて編ニット生地の加工の方法 たて編ニット生地の加工の方法に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。 1)次に掲げる加工の方法 1.バッジ組み 2.精練加工 3.染色加工 4.仕上げ加工 2)次に掲げる特殊加工の方法 1.起毛加工 2.プリント加工 3.減量加工 4.その他の加工</p> <p>6 たて編ニット生地製造に関する日本工業規格 たて編ニット生地製造に関する日本工業規格について専門的な知識を有すること。</p> <p>7 品質管理・検査 次に掲げるたて編ニット生地製造の品質管理・検査について 1.編み上がり製品の流し方 2.検査(見回り作業を含む) 3.数量管理及び品質管理 4.作業の改善</p> <p>8 生産管理 次に掲げるたて編ニット生地製造の生産管理に関し専門的な</p> <p>9 作業指導 たて編ニット生地製造に関する教育訓練に関し、次に掲げる 1.教育訓練計画の立て方と実施 2.教育訓練の方法</p> <p>10 安全衛生 たて編ニット生地製造作業に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について詳細な知識を有すること。 1.機械、工具、原材料等の危険性及びこれらの取扱い方法 2.安全装置又は保護具の性能及び取扱い方法 3.整理・整頓及び清潔の保持 4.電気設備、ガス設備及び蒸気設備の取扱い上の安全 5.室内の照明及び換気並びに温度及び湿度の保全 6.事故発生時における応急措置及び退避 7.その他たて編ニット生地製造作業に関する災害の原因と予防及び安全衛生のための必要な事項</p>
<p>実技試験 たて編ニット生地製造作業</p> <p>①整経 次に掲げる整経に関する作業ができること 1.整経機の運転 2.糸掛け 3.糸結び 4.糸切れ処理 5.ビームの準備 6.テンション測定</p> <p>②たて編機の運転及び取扱い 次に掲げるたて編機(トリコット機・ラッセル機)及び装置の取扱いができること 1.たて編機本体の運転 2.糸切れ検知装置 3.柄出し装置 4.送出し・巻取り装置 5.編成部装置 6.テンション装置 7.駆動装置</p> <p>③編立て 次に掲げる編立て作業ができること 1.編地の規格・設計 2.編糸の仕掛け 3.編出し 4.基本組織の編立て 5.変化組織の編立て 6.柄出し</p> <p>④管理・検査・補修 次に掲げる管理・検査・補修に関する作業ができること 1.編み上がり製品の流し作業 2.検査(見回り作業、格付け判定を含む)作業 3.編地の補修(編きず対策を含む)作業ができること 4.数量管理及び品質管理の確認作業ができること</p>	<p>実技試験 たて編ニット生地製造作業</p> <p>①整経 次に掲げる整経に関する作業ができること 1.整経機の運転(マスタービームの整経) 2.糸掛け 3.糸結び 4.糸切れ処理 5.ビームの準備 6.テンション測定</p> <p>②たて編機の運転及び取扱い 次に掲げるたて編機(トリコット機・ラッセル機)及び装置の取扱いができること 1.たて編機本体の運転 2.糸切れ検知装置 3.柄出し装置 4.送出し・巻取り装置 5.編成部装置 6.テンション装置 7.駆動装置</p> <p>③編立て 次に掲げる編立て作業ができること 1.編地の規格・設計 2.編糸の仕掛け 3.編出し 4.基本組織の編立て 5.変化組織の編立て 6.柄出し</p> <p>④管理・検査・補修・設計 次に掲げる管理・検査・補修・設計に関する作業ができること 1.編み上がり製品の流し作業 2.検査(見回り作業、格付け判定を含む)作業 3.編地の補修(編きず対策を含む)作業 4.数量管理及び品質管理の確認・判断作業 5.テンションの管理作業 6.柄組みに関する作業</p>	<p>実技試験 たて編ニット生地製造作業</p> <p>①整経 次に掲げる整経に関する作業、および指導ができること 1.整経機の運転(マスタービームの整経) 2.糸掛け 3.糸結び 4.糸切れ処理 5.ビームの準備 6.テンション測定</p> <p>②たて編機の運転及び取扱い 次に掲げるたて編機(トリコット機・ラッセル機)及び装置の取扱いができること 1.たて編機本体の運転 2.糸切れ検知装置 3.柄出し装置 4.送出し・巻取り装置 5.編成部装置 6.テンション装置 7.駆動装置</p> <p>③編立て 次に掲げる編立て作業、及び指導ができること 1.編地の企画・設計 2.編糸の仕掛け 3.新規品番の初反編出し 4.基本組織の編立て 5.変化組織の編立て 6.柄出し</p> <p>④管理・検査・補修・設計 次に掲げる管理・検査・補修・設計に関する作業及び指導ができること 1.編み上がり製品の流し作業 2.検査(見回り作業、格付け判定を含む)作業 3.編地の補修(編きず対策を含む)作業 4.数量管理及び品質管理の確認・判断作業 5.テンションの管理作業 6.柄組みに関する作業 7.欠点解析作業 8.原系管理 9.整経データ表の作成、管理作業 10.編成部の修整、及び微調整作業 11.欠点等の異常発生に対する対応・交渉 12.設計変更時のデータ取り</p>